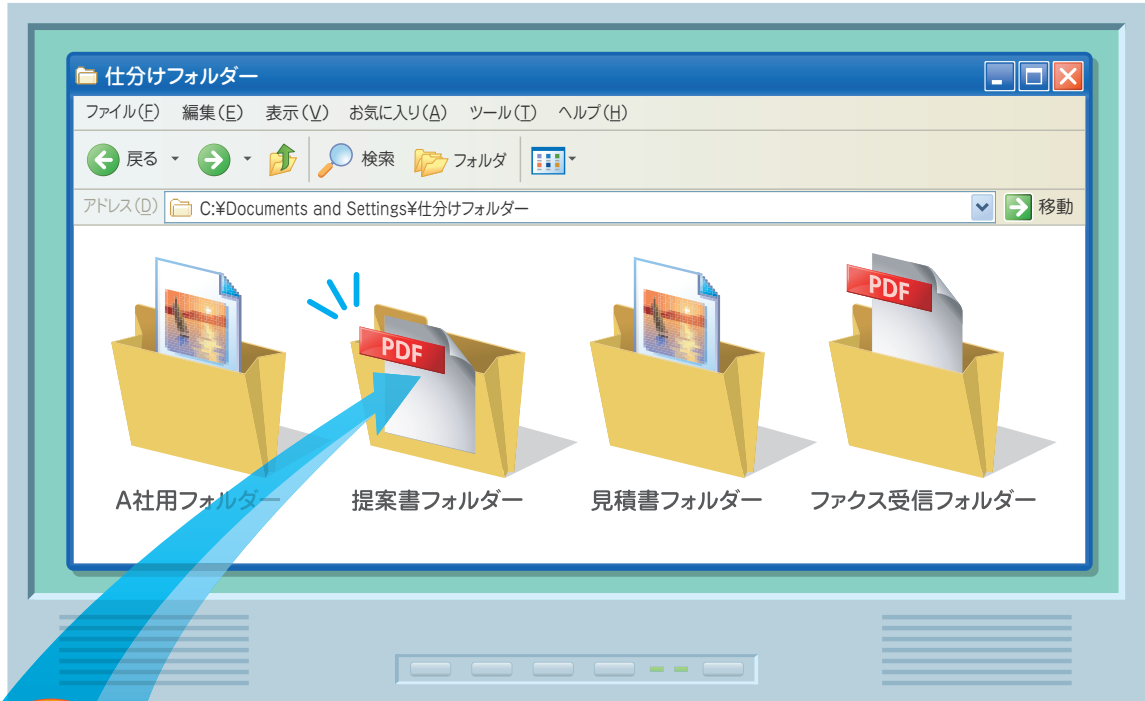




KONICA MINOLTA



転送

リネーム
処理

フォルダー
選択

電子化



スキャン作業・ファクス受信は

「仕分け名人」におまかせ!

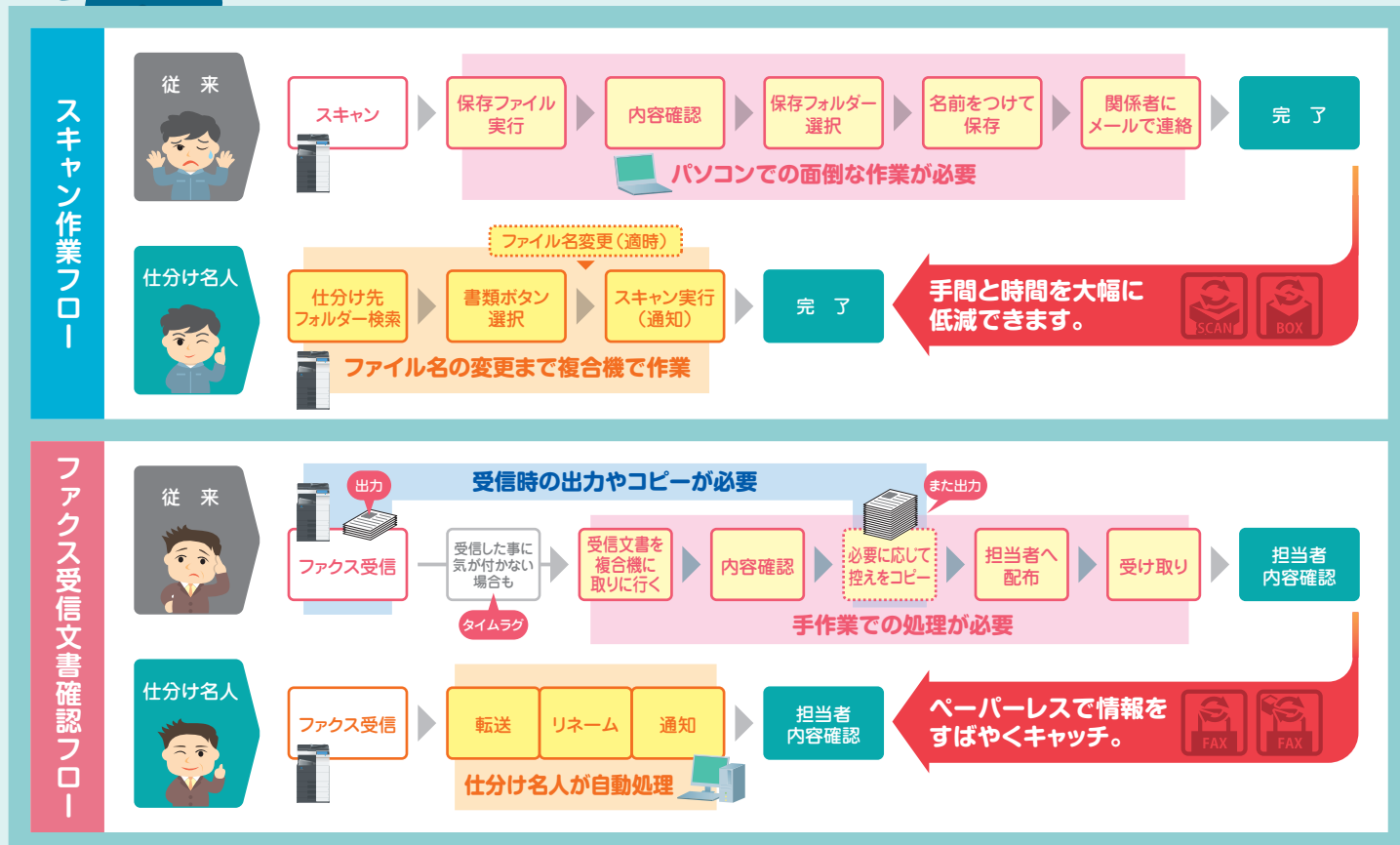
データの仕分けからファイル名の変更もラクラク、bizhub連携 簡単仕分けツール

Giving Shape to Ideas

スキャン文書やファクス受信文書を ラクラク仕分け!



「仕分け名人」は、スキャン文書やファクス受信文書の指定フォルダーへの保存からリネーム処理まで、一連の「仕分け」作業を効率化。紙文書の電子化を促進し、面倒なスキャン作業や手間のかかるファクス受信文書の管理をまとめて解決します。



仕分け目的に合わせて選べる3つの商品形態をご用意

1 基本機能版

複合機からスキャン文書を仕分けする「仕分けスキャン機能」、「BOXスキャン機能」の他、「フォルダー監視機能」を搭載しています。



仕分け可能文書: スキャン文書, 監視フォルダー内文書, ファクス受信文書

3

アップグレード



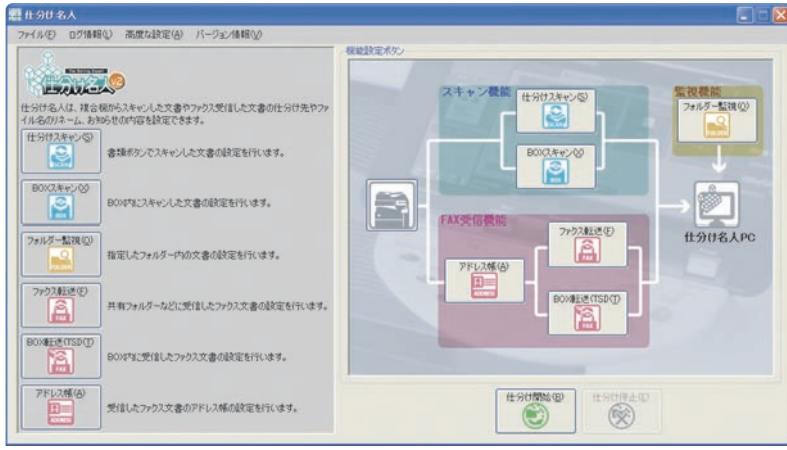
2 ファクス連携版

基本機能版に加え、ファクス受信文書の仕分けを行える「ファクス転送機能」、「BOX転送(TSI)機能」を搭載しています。



仕分け可能文書: スキャン文書, 監視フォルダー内文書, ファクス受信文書

できる! より分かりやすくなった画面表示で、設定から運用までラクラク操作



■ファクス連携版TOP画面

PC設定画面

ユーザーインターフェースを大幅に変更。グラフィカルな画面構成で、設定する項目を直感的に操作できます。



■ファクス転送設定画面

各機能の設定も画面上部の番号に従い遷移するため、設定手順に迷いません。



複合機操作パネル

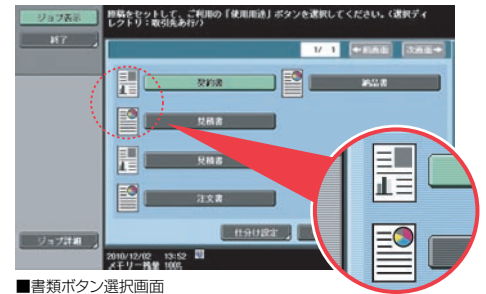
複合機に表示されるボタンにフォルダーや書類のアイコンを追加。ボタンの違いが明確なので、分かりやすさやミスも防ぎます。



フォルダーを選択しているか、書類を選択しているかが一目瞭然、悩まず操作できます。



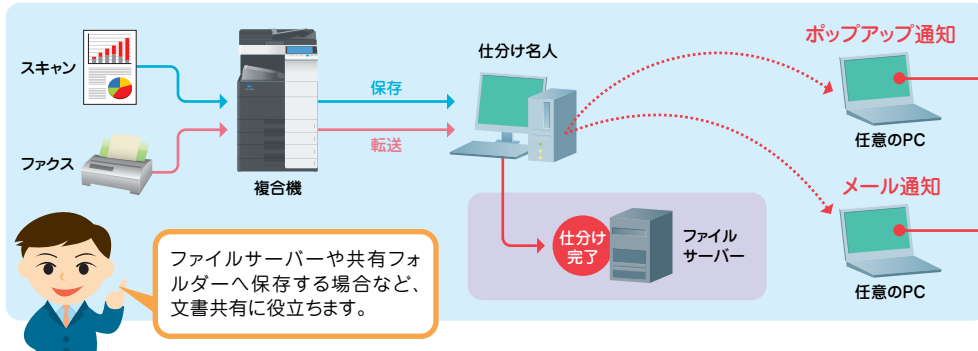
■フォルダー選択画面



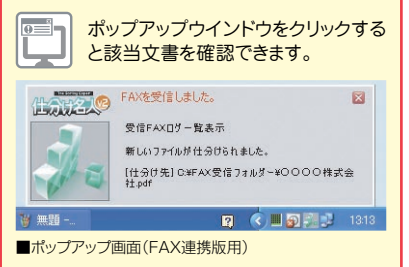
■書類ボタン選択画面

できる! 仕分け完了をメールやポップアップですばやくお知らせ

スキャン画像やファクス受信文書の仕分けが完了したことを、任意のPCへメールやポップアップで通知します。



ファイルサーバーや共有フォルダーへ保存する場合など、文書共有に役立ちます。

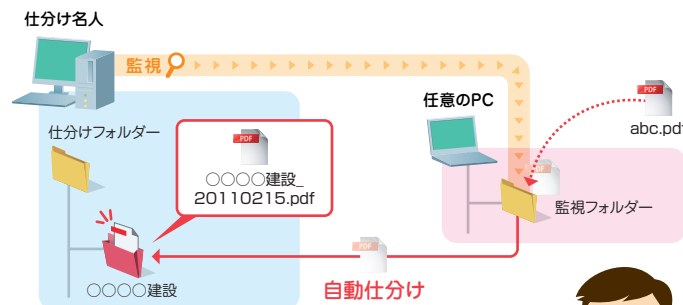


■ポップアップ画面(FAX連携版用)

メールに記載のリンク先をクリックして該当文書を確認できます。また、メールに添付する事もできます。

できる! フォルダー監視機能

指定のフォルダーを監視対象に設定し、フォルダー内の文書を自動で仕分けします。

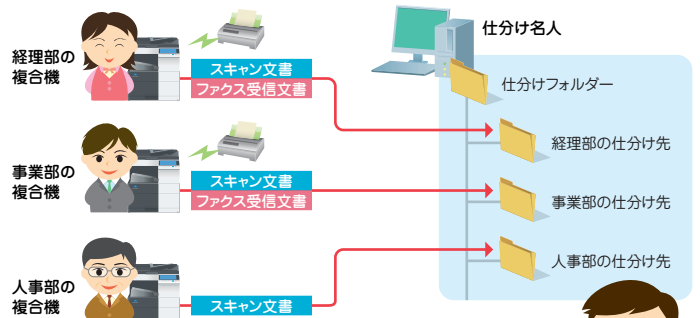


リアルタイム監視やネットワークフォルダーの監視も可能です。



できる! 複合機単位で仕分け先を指定

仕分け名人を複数台の複合機で利用する際に、複合機単位で仕分けできます。



例えば、部門ごとの複合機から部門別の仕分けが可能です。





スキャン機能

基本機能版

ファクス連携版

複合機のみで一連のスキャン作業が完了。手間を大幅に減らし、関係者への通知も行えます。

Before

問題 1

オフィスにあふれる紙文書を削減したい…。

保管スペースが限られているものの、いつ必要になるかわからず捨てられない多くの紙文書。書類探しに時間を削られたり、紛失してしまう事もあり、業務に支障をきたします。



問題 2

紙文書が多くて読み込み作業が大変…。

平型スキャナーの場合、スキャンする枚数分原稿を一枚一枚セットし、読み取り作業が必要です。原稿量が増すほど作業量も増え、大量枚数になると大変な負担となります。



問題 3

スキャンデータの保存に手間が掛かって…。

ファイル名も一つ一つ入力し、データが多くなると入力ミスなどの恐れもあります。複合機のスキャナーを使用した場合は、ファイルの移動も含めPCに戻ってからの作業が必要です。



After

解決 1

電子化によりオフィスはスッキリ!

紙文書を電子化することでオフィスもデスクもスッキリ。紛失の心配もなくなり、書類探しもパソコンで検索でき仕事の効率もアップします。



解決 2

コピー感覚でスピーディーにスキャン!

複合機のADF(自動原稿送り装置)を使用することで読み取り作業の手間を大幅に低減できます。大量原稿もADFにセットしスタートボタンを押すだけで、自動で読み取りが可能です。



解決 3

複合機のパネル操作だけでラクラク保存!

仕分け名人を使えば複合機のパネル操作だけで、その場で自由にPCやファイルサーバーの保存先フォルダーやファイル名を決めスキャンできます。PCに戻っての作業は不要です。



Case Study — 活用場所例 —

建築・不動産業

効果 1

古い図面も劣化せず鮮明なまま保管できます。

効果 2

物件情報をPCで検索、素早く見つけられます。

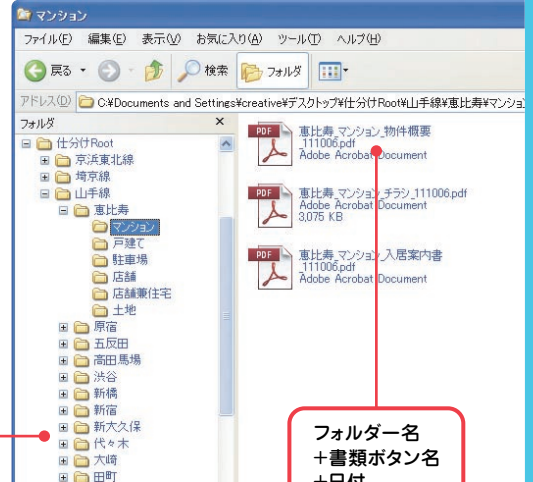
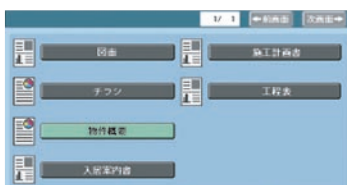
効果 3

物件ごとに資料をまとめて保管できます。



仕分け先選択

例. 最寄駅 ▶ 物件区分



フォルダー名 + 書類ボタン名 + 日付

ファイル名の設定

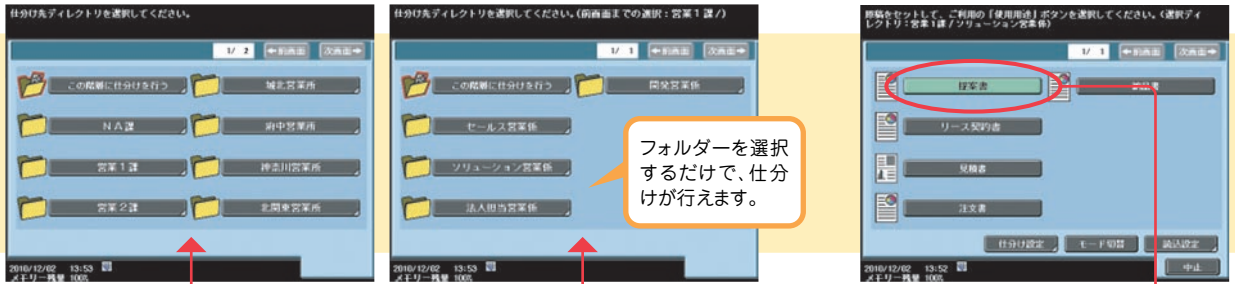
選択したフォルダー、書類ボタン名称やスキャンした日付など設定したルールに沿ってファイル名を付けられます。



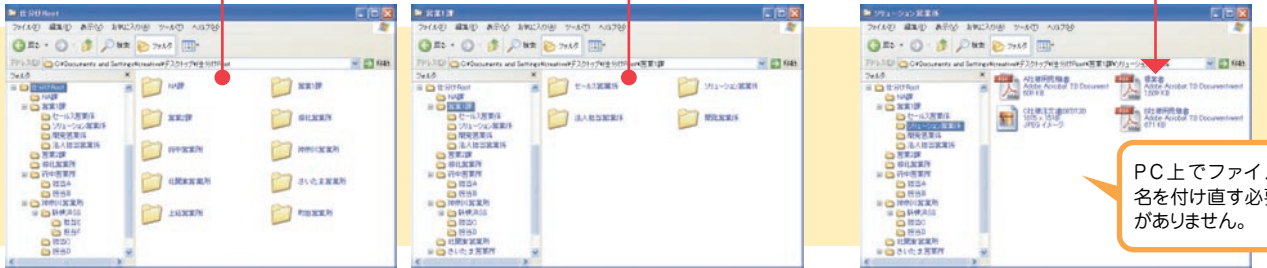
仕分けスキャン機能

保存フォルダーやファイル名を複合機で自由に決めて、その場で仕分けができます。

複合機
操作画面



保存先
PC
フォルダー



指定したPCのフォルダー階層や名称をそのまま複合機の操作パネルに表示。任意のフォルダーを選択し、保存できます。

ボタン名称がそのままファイル名に。リネームルールを使用し、任意のファイル名で保存できます。

できる! 学習機能でトップ画面をカスタマイズ

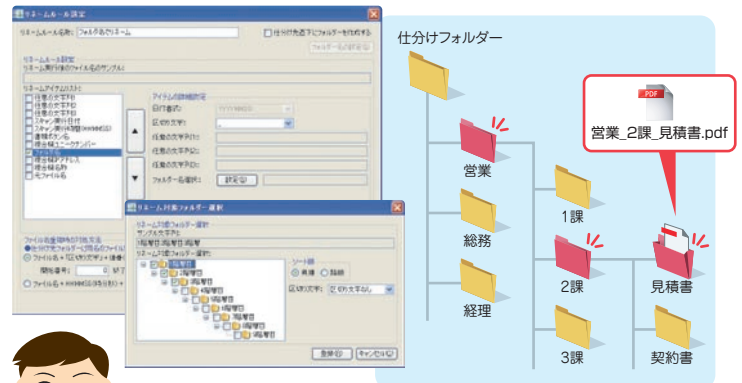
頻繁にスキャンデータを取り込むフォルダーや書類ボタンが最初の画面に表示されます。



使用頻度の高いフォルダーや書類ボタンを同一階層内で先に表示します。

できる! フォルダー名をファイル名称に利用可能

操作パネルで選択したフォルダー名がそのままファイル名称に反映されます。

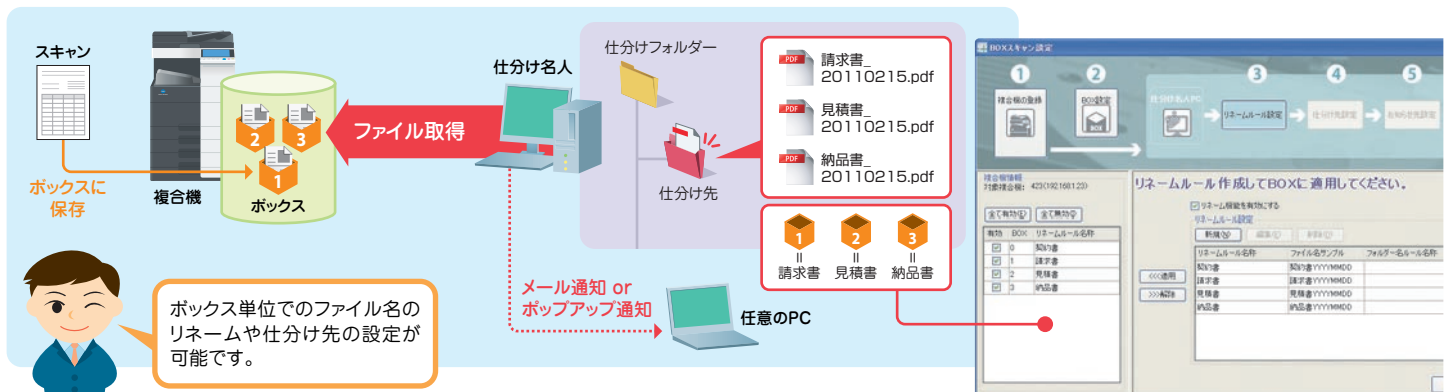


PCでフォルダーを作成するだけで、ファイル名として利用できます。



BOXスキャン機能

複合機のボックスに保存されたスキャン文書を仕分け名人が取得し、設定に合わせて仕分けします。





ファクス受信機能

基本機能版

ファクス連携版

ペーパーレスでファクスを受信。フォルダーへの振り分け・リネーム処理・通知まで自動で行えます。

Before

問題 1 受信文書のプリントコストを削減したい…。

日々送られてくるファクスの受信文書。一目確認するだけの文書も多くあります。業務上必要不可欠とは言え、すべての文書を出力しては用紙代やトナー代はかさむ一方です。



問題 2 配布・ファイリングの手間、タイムラグをなくしたい…。

受信文書を人数分コピーし配布、保管用にファイリング。受信文書や配布人数が増えると作業は大変です。また、受信した事に気付かず、担当者に届くまで時間がかかる事も。



問題 3 受信文書やファイルの混在を避けたい…。

紙文書で受信の場合、取り間違いや他の受信文書と混在し所在が分からなくなる事も。また、ペーパーレス受信でも、ファイル名称だけでは内容が把握できず、他のファイルと区別できません。



After

解決 1 ペーパーレス受信でTCO削減!

受信文書はダイレクトにデータとして保存されます。保存後にデータ内容を確認し、必要な場合のみ出力できます。無駄なプリントアウトを避け、コスト削減を実現します。



解決 2 自動転送・通知機能で手間いらず!

受信文書は指定フォルダーに自動で振り分けられるため、配布やファイリングの手間が省けます。また、仕分け完了を関係者にメールなどで通知でき、素早い情報配信が可能です。



解決 3 自動でリネーム、指定フォルダーに仕分け!

仕分け名人なら、受信文書の振り分けと同時にリネーム処理を自動で行えます。設定したルールに従いリネームでき、ファイル名称で受信文書を把握できます。



Case Study - 活用場所例 -

販売・卸売り業

効果 1 ステータス管理で発注漏れを防止、受注依頼に対しスピーディーな対応が可能。

効果 2 注文業務をペーパーレスで行え、コスト削減に繋がります。



- 注文・発注用紙
 - 納品書
 - 顧客台帳
- などの管理に!

■ファクス受注から発注完了までの処理フロー

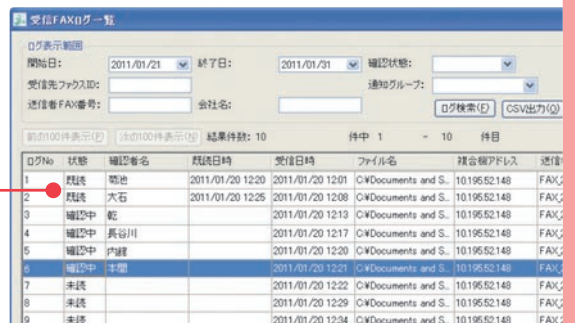
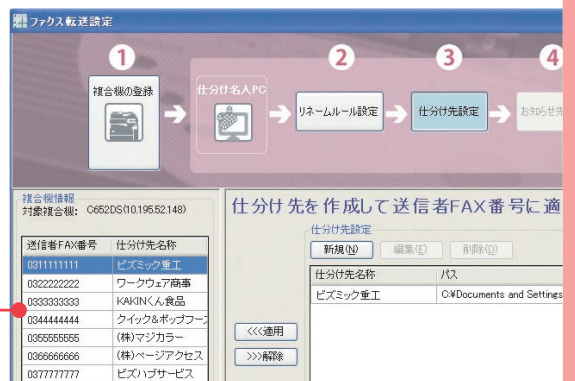
仕分け先を設定

注文業者のファクス番号を予め登録し、仕分け設定。業者別に受信文書を仕分けできます。

受信ファクスログ一覧の活用

ファクスでの商品注文に対し、発注処理を行った場合は「既読」発注処理中は「確認中」というルールにし、発注漏れを回避。

発注完了





ファクス転送機能

bizhub C650/C550/C451/C353/C253/C203, bizhub 751/601/501/421/361はファクス転送機能に対応していません。BOX転送(TSI)機能をご利用ください。

発信元ファクス番号に合わせ、ファクス受信文書の仕分けが利用可能です。

①転送ファクス設定によるファイル転送
複合機の「転送ファクス設定」と連携し、受信文書を指定フォルダーへ自動転送。リネーム処理を行い仕分けが完了します。

②強制メモリー受信設定によるファイル取得
複合機の「強制メモリー受信設定」と連携し、受信文書を一旦複合機本体に保存。その後仕分け名人がファイルを取得し、仕分けが完了します。

メール通知 or ポップアップ通知

任意のPC

2011年2月20日
2011年2月21日
2011年2月22日

〇〇〇〇建設
△△△株式会社

△△△株式会社_20110222.pdf

受信した日付のフォルダーが自動生成され、ファイルが保存されます。

「強制メモリー受信設定」との連携で、外出時などに仕分け名人PCの電源をOFFしておくことも可能です。

※相手の発信元情報に登録されたファクスIDを利用して仕分けを行います。

FAX番号	会社名	部署名	担当者名
0311111111	〇〇〇〇建設	土木課	鈴木ひろし
0322222222	△△△株式会社	経理部	斎藤次郎
0333333333	□□□□サービス	営業部	山田太郎



BOX転送(TSI)機能

複合機のTSI振り分け機能によりボックスに保存されたファクス受信文書の仕分けを行います。

A社
B社
C社

複合機

A社用ボックスへ
B社用ボックスへ
C社用ボックスへ

ファイル取得

メール通知 or ポップアップ通知

任意のPC

A社ファクス
B社ファクス
C社ファクス

A社_20110225.tif
B社_20110225.tif
C社_20110225.tif

TSI振り分け機能を使用し、受信文書を複合機のボックスに一旦保存。仕分け名人が自動でファイルを取得します。

できる! ファクスIDで最大2,000件を仕分け

ファクス転送に必要な発信元ファクス番号を、最大で2,000件までアドレス帳に登録可能です。

アドレス帳(A)

FAX番号	会社名	部署名	担当者名
0311111111	〇〇〇〇建設	土木課	鈴木ひろし
0322222222	△△△株式会社	経理部	斎藤次郎
0333333333	□□□□サービス	営業部	山田太郎
0344444444	××××エステート	経理部	田中一郎
0455555555	株式会社〇〇〇〇	清水店	高橋健二
0466666666	△△△△化学工業	埼玉支店	佐藤花子
0377777777	〇〇〇〇〇ファクス	経理部	渡辺かおる

CSV形式に対応しているため、既存の顧客データベースから簡単にインポートできます。

できる! 受信文書のステータスを管理可能

受信ファクスログ一覧で受信文書のステータス(未読・確認中・既読)を管理でき、簡易のワークフローを実現できます。

これは私(山下)が処理したから「既読」に。

これは今私(伊藤)が処理中です。

これは「未読」だから早く処理しないと!!

ログNo	状態	確認者名	既読日時	受信日時	ファイル名	種
2	既読	伊藤	2010/12/20 15:56	2010/12/20 15:51	C:\Documents and S...	10
3	既読	山下	2010/12/20 15:57	2010/12/20 15:55	C:\Documents and S...	10
4	既読	伊藤	2010/12/20 16:16	2010/12/20 16:06	C:\Documents and S...	10
5	既読	安藤	2010/12/21 17:52	2010/12/21 17:50	C:\Documents and S...	10
6	確認中	山下		2010/12/22 05:57	C:\Documents and S...	10
7	未読	伊藤		2010/12/22 09:08	C:\Documents and S...	10

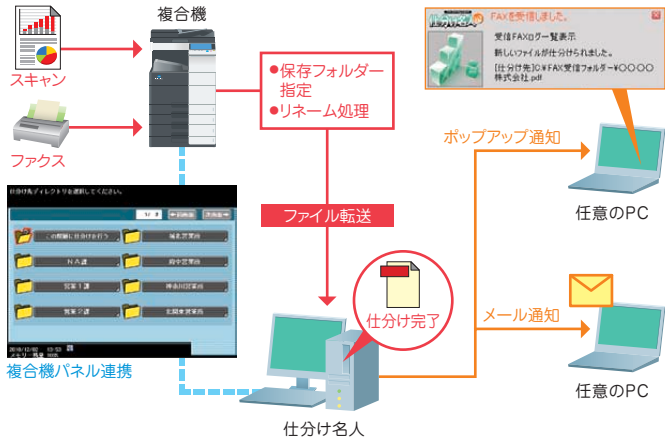
処理したかどうか一目で把握でき、作業の重複も防げます。

仕分け名人が紙文書の電子化、ファクスのペーパーレス受信を効率化します。

スキャンデータやファクス受信文書の保存先(フォルダー)指定、リネーム(ルールに従ったファイル名変更)処理、関係者への通知を複合機のスキャンやファクス受信と同時に完了できます。

「仕分け名人」は、複合機によってスキャンした画像ファイルや監視対象のフォルダー内に格納されたファイル、受信したファクス文書のリネームを行い、設定したフォルダーへファイル転送を行うシステムです。

■システム構成図



複合機 パネル連携 機能

- パソコンやファイルサーバーの保存先フォルダー階層を複合機の操作パネルに表示します。
- 書類ボタン(文書読み込み設定、ファイル名のリネームルール設定等)を複合機の操作パネルに表示します。
- 複合機の操作パネルからフォルダーを選択するだけで保存先の変更が可能です。
※仕分け先設定フォルダーの下の階層にのみ表示。

仕分け 機能

- 仕分けスキャン:複合機のスキャン操作による仕分けが可能です。
- BOXスキャン:複合機のボックスから取得したスキャン文書の仕分けが可能です。
- ファクス転送:受信ファクスの仕分けが可能です。
- BOX転送(TSI):ボックス(TSI)単位で受信ファクスの仕分けが可能です。
- フォルダー監視:監視フォルダー内のファイルの仕分けが可能です。

リネーム 機能

- パソコンから書類ボタン単位でリネームルールの作成・登録が可能です。
- スキャン毎に複合機からリネームルールの変更が可能です。
(必要な部分のみを変更可能)
- アドレス帳単位でリネームルールの作成・登録が可能です。
- 複合機のボックス単位でリネームルールの作成が可能です。

学習機能

学習機能を有効にすると、複合機のフォルダー選択画面と書類ボタン選択画面のボタンを、使用頻度の高い順に並びかえ表示します。

お知らせ 機能

仕分けが完了したら、関係者に通知(ポップアップ又はメール送信)します。
※ポップアップ通知には受信PCに受信アプリケーションのインストールが必要です。
※メール通知にはメール環境が必要です。

■仕分け名人の主な仕様

複合機連携	パネル連携(仕分け名人ボタン作成)
複合機との通信方法	HTTP:HTTPS(SOAP)、SNMP、FTP ^{※1} 、SMB ^{※3}
登録転送先	ローカルフォルダー、SMBフォルダー、FTPフォルダー
文書登録時の通知方法	ポップアップ(Socket)、メール(SMTP)
登録可能書類(ボタン)数	100個
仕分け先フォルダー階層	ディレクトリ選択画面利用時、最大9階層まで表示
最大フォルダー数	各階層99フォルダーまで表示
最大アプリケーション登録数 ^{※2}	最大10クライアント
最大アドレス帳登録数 ^{※3}	2000件
連携可能複合機数	最大10台(推奨3台)
連携可能複合機ボックス数 ^{※4}	63個

- ※1:ユーザー認証が必要なプロキシサーバーには対応していません。
- ※2:1台の複合機には同時に最大10ライセンスの仕分け名人が連携可能です。ただし他の複合機連携アプリケーションが無い場合。
- ※3:FAX連携版をご利用時のみ利用可能です。
- ※4:[BOXスキャン機能]および[BOX転送(TSI)機能]にて、連携できる複合機のボックスの数は63個が上限値となります。(両機能利用時は、その合計数が対象)

■動作環境

OS	日本語版Windows 8.1通常版/Pro 32ビット/64ビット 日本語版Windows 10 Home/Pro 32ビット/64ビット 日本語版Windows 11 Home/Pro 64ビット 日本語版Windows Server 2012 Standard Edition 64ビット 日本語版Windows Server 2012 R2 Standard Edition 64ビット 日本語版Windows Server 2016 Standard Edition 64ビット 日本語版Windows Server 2019 Standard Edition 64ビット 日本語版Windows Server 2022 Standard Edition 64ビット
プロセッサ	推奨1GHz以上のPentiumプロセッサ
RAM	最小1GB(推奨2GB以上)
HDD	推奨空き容量10GB以上
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.0, 3.5 SP1

- ※アップグレード版OS環境での動作は保証いたしません。
- ※仮想環境でのご利用やマイクロソフト社のサポートが終了したOSについては、動作保証の対象外となります。
- ※64ビットOSでは、WOW64にて32ビットアプリケーションとして動作します。
- ※日本語版Microsoft Windows 8.1通常版/Pro以降の環境においては日本語版Microsoft .NET Framework 3.0, 3.5 SP1 に含まれる日本語版Microsoft .NET Framework 2.0 SP2の機能を使用し動作します。
- ※マイクロソフト社からの拡張セキュリティ更新(ESU)プログラムを適用されているOSのサポートにつきましては、別途お問い合わせください。

※コニカミノルタ、KONICA MINOLTAロゴ、Giving Shape to Ideas、bizhub、仕分け名人はコニカミノルタ株式会社の登録商標です。※WindowsおよびWindows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。※Pentiumは米国インテル社の登録商標です。※AdobeおよびAcrobatは、米国Adobe System Inc.の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。※その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。※このカタログは事業者向けの商品・サービスの情報を提供しております。記載の価格には消費税が含まれておりませんので、ご購入の際は別途申し受けます。※カタログ中のイメージカラーを使用している部分は実際の画面の色と異なる場合があります。※複合機の操作パネル画面は機種により異なります。※製品改良のため、仕様および機能の一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

コニカミノルタ情報機器事業の生産事業所およびその生産関係会社の全てにおいてISO14001を取得しています。また、国内販売会社の全拠点でも認証を取得しています。

国内総販売元

コニカミノルタ ジャパン株式会社
〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

お客様相談室 0120-805039

受付時間は土、日、祝日を除く9:00~12:00、13:00~17:00でお受けします。

おことわり 確認のためお問い合わせ内容を録音させていただきます。ご了承ください。
消耗品・修理・保守・サービスに関するお問い合わせは、ご購入いただいた当社販売店へご連絡ください。

製品についての詳しい情報は、インターネットでご覧いただけます。<https://konicaminolta.com>

■標準価格(税別)

仕分け名人V2 基本機能版	30,000円
仕分け名人V2 FAX連携版	50,000円
仕分け名人V2 アップグレード版	20,000円

商品形態:ライセンス証書パッケージ(ソフトウェア本体はダウンロードサイトからの提供となります。)

※インストール・アンインストール、および、ライセンス認証時にインターネット環境が必要となります。

■サポート料金(税別)

サポート項目	料金
インストール料金	3,000円/ライセンス
操作教育指導料金	5,000円/30分

※1訪問あたり別途基本料金(10,000円)を申し受けます。(移動距離が弊社拠点より31km以上の場合はお問い合わせください)

動作対応複合機

仕分け名人と連携可能な複合機の機種は、以下のURLよりご確認ください。

<http://konicaminolta.jp/pr/shiwake2-mfp>

※仕分け名人はコニカミノルタ製複合機と連携するアプリケーションです。
※複合機によっては、仕分け名人の一部機能が使用できない機種があります。

お問い合わせは、当社へ。